



各 位

平成18年10月13日

会社名 カルソニックカンセイ株式会社
代表者名 取締役社長 北島 孝
(コード番号 7248 東証第1部)
問合せ先 経理原価本部
経理グループ部長 野木 裕史
TEL (03) 5385 - 0140

平成19年3月期 中間期業績予想に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年3月期の中間期の業績予想を下記のとおりお知らせいたします。

尚、平成18年5月15日の決算発表時に公表いたしました、平成19年3月期の業績予想では中間期の業績予想は公表しておりませんので、当業績予想は前中間会計期間並びに前中間連結会計期間の実績値と比較しております。

1. 平成19年3月期中間連結業績予想数値 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前中間連結会計期間実績 (A)	357,549	11,786	10,148
今回予想(B)	325,000	4,000	0
増減額(B-A)	△ 32,549	△ 7,786	△ 10,148
増減率	-9.1%	-66.1%	-100.0%

2. 平成19年3月期中間単独業績予想数値 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前中間会計期間実績 (A)	192,293	7,375	11,391
今回予想(B)	180,000	1,500	△ 3,000
増減額(B-A)	△ 12,293	△ 5,875	△ 14,391
増減率	-6.4%	-79.7%	-126.3%

3. 中間業績予想について

(1) 中間連結業績

当中間期の連結業績は、日本・北米における主要顧客向けの売上高の減少や、前中間連結会計期間にあった子会社株式の売却益の影響に加え、当社が製造した自動車用部品の品質問題に係わる処置費用の見込額を特別損失として計上すること等により売上高、経常利益、当期純利益とも前中間連結会計期間実績を下回る見込みであります。

(2) 中間単独業績

当中間期の単独業績は、日本における主要顧客向けの売上高の減少や、前中間会計期間にあった子会社株式の売却益の影響に加え、当社が製造した自動車用部品の品質問題に係わる処置費用の見込額を特別損失として計上すること等により売上高、経常利益、当期純利益とも前中間会計期間実績を下回る見込みであります。

4. 平成19年3月期通期業績予想

平成19年3月期通期業績予想につきましては、本年度後半における改善施策を含めて現在算定中であり、中間決算発表時に発表する予定であります。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上